

黒木西



学校と地域がかかわる・つながる

黒木西小 学校だより

文責:校長 齋藤英義
令和3年6月11日(金)

NO.05

今回、少々堅い話題からお話しをさせていただきます。最近、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づいた学校の体制「学校運営協議会制度」や「社会教育法」で推奨する地域の体制「地域学校協働本部」の整備により、地域と学校の連携・協働を組織的に進める自治体や学校が、多くなっています。

黒木中学校校区(黒木中・黒木西小・黒木小)においても、昨年度から前述の二つの体制がスタートしました。二つの体制についても少し説明します。



一つ目の「学校運営協議会制度(「コミュニティ・スクール」)」というのは、学校が保護者をはじめ、多様な地域の団体や機関の代表から構成される学校運営協議会を設置し、学校と保護者や地域住民等がともに知恵を出し合い学校運営に意見を反映させることで、地域と一体となって「地域とともにある学校づくり」を進める体制のことです。

二つ目の「地域学校協働本部」は、地域学校協働活動を円滑に進めるために活動推進員が配置され、活動と人材を調整する機能を発揮する体制のことです。「地域学校協働活動」とは、地域の高齢者の方、学生、保護者、PTA、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。



少し堅くなってきましたが、じゃあ、こういうことは、これまでやってなかったのかというとそんなことはありません。これまで、ゲストティーチャーとして地域の方に来校いただいたり、子ども達に様々な体験活動を指導していただいたり、実際に地域に出かけて学習を進めておりました。

しかし、活動推進員さん(コーディネーター)が配置されることで、より有意義な活動が展開されることとなります。本校では、校区在住の『藤田和代さん』に本校の推進員さんとして着任していただいております。本年度も、藤田推進員さんが中心となって地域学校協働活動を充実させていただくことで、地域が学校や子どもたちを応援・支援するという一方の関係だけではなく、「学校を核とした地域づくり」の活性化も図られることを期待しているところです。

そんな中、先日、二学年の学習で「地域学校協働活動」が展開されました。



ここはこうやって...

一つ目は、第3学年の総合的な学習の時間「八女茶のすてきをしまんじょう」の学習です。



茶工場見学の様子

「コロナの関係で大分時期がずれましたが、三宅浩史さん(日本茶インストラクター協会福岡県支部長)に案内していただき、中田代お茶工場見学を実施しました。子どもたちにとっては、何気なく飲んでいる八女茶ですが工場見学を通して、お茶についての新たな疑問や不思議な発見が楽しめました。

二つの学習ともに、「地域(ふるさと)の人・もの・こと」に学ぶ学習を通して、地域(ふるさと)を知り、地域(ふるさと)のよさを実感する貴重な学習となりました。

このようなコロナ禍ではありますが、今後も、書写の学習等の補助や、子どもたちが地域に出て行って郷土学習を行ったり、地域住民の方と共に地域課題を解決したり地域の行事に参画して共に地域づくりに関わったりといった活動を行う時、子どもたちを応援・支援していただけるようお願いいたします。